

大濠公園能樂堂 個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	19
施設所管課	文化振興課

令和2年2月

❀福 岡 県❀

大濠公園能楽堂
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 建物全体の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	大濠公園能楽堂		
所 管	人づくり・県民生活部文化振興課		
整 理 番 号	19	竣工年度	昭和 60 年度
所 在 地	福岡県福岡市中央区大濠公園 1 - 5		
敷 地 面 積 (m ²)	11,800.00	建築面積 (m ²)	3,018.56
主 構 造	R C	延床面積 (m ²)	3,083.38
主 要 建 築 物	大濠公園能楽堂		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	大濠公園能楽堂				
棟 番 ・ 枝 番	203	-	1	竣工年度	昭和 60 年度
建 築 面 積 (m ²)	3,018.56		延床面積 (m ²)	3,083.38	
構 造 ・ 階 数	R C 造 地上 2 階 地下 1 階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)			
2F	94.58	広間空調機械室(中二階)			
1F	2,289.45	能楽堂			
B1	281.99	機械室			

大濠公園能楽堂は昭和 60 年度に竣工しました。大濠公園の入り口にあり、能と狂言の公演を中心に開催する、約 600 席を完備する能楽堂で、他にも結婚式や日本舞踊、詩吟、コンサート等の催しも行われています。

(3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築34年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。

(2) 施設内での優先順位

施設としては鉄筋コンクリート造りによる正方の舞台や500席以上の客席等を有する建物であり、屋上防水設備の更新を平成30年度、受変電設備の更新を平成22年度、吸収式冷温水発生機更新を平成21年度、空調設備の更新を平成28年度と平成30年度、給湯管取替工事を平成16年度に行っています。

施設の安定的な運営のため、竣工時からの機器を使用している自家発電設備の更新を令和1年度に、電灯設備のLED化を令和2年度に実施予定としています。また、特定天井改修工事のため休館を予定している令和3年度には、休館を要する工事、工期が長期間に及ぶ工事等を優先的に実施します。

その他の設備等に関しても、築30年以上が経過しており、標準的な改修時期を過ぎた箇所も多いため、予防保全型管理による計画的な改修を行っていきます。

(3) その他

敷地内には、大濠公園能楽堂のほかに、大濠・西公園管理事務所や福岡市美術館、児童遊園、日本庭園があります。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

屋上部においては屋上防水改修工事を、空調設備においてはエアハンドリングユニット更新工事を平成30年度に実施しているため、計画期間内における改修は不要です。

外壁においては、モルタルの浮きや塗装の浮き、しみや白華など、経年による老朽化が進行している状態です。内部においても、クロス張りの剥がれや、じゅらく塗装の削れなどが見られます。

その他の施設設備についても、不具合等が発見された場合に、部分的に事後保全による修繕を行っているだけで、多くの部分が改修されていない状態です。

(2) 建物全体の現存率

現存率算定表

施設名称	大濠公園能楽堂		建物名称	大濠公園能楽堂				
所在地	福岡市中央区大濠公園1-5		棟番・枝番	203	-	1	築年数	34年
建築年度	昭和60年度	建築面積	3,018.56 m ²	現存率	91.0	想定耐用年数	65年	
構造・階数	RC 2	延面積	3,083.38 m ²					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率	①×②		
構造	躯体	40	RC	34	100.0	40.00		
	小計						40.00	
主要部仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト防水(B-2)、シート防水、塗膜防水H30_屋上防水工事	1	100.0	20.00		
	外壁	20	塗装、タイル	34	70.0	14.00		
	小計						34.00	
電気設備	受変電設備	10	H22_受変電設備更新	9	90.0	9.00		
	小計						9.00	
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10	H16_給湯管取替工事	15	80.0	8.00		
	小計						8.00	
合計						91.00		

この結果、大濠公園能楽堂の現存率は「91.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C	100.0	耐震診断による Is 値 ¹	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト防水(B-2)	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・改修後 10 年未満
			防水層の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・改修後 10 年未満
			経年（新設もしくは改修後）	<ul style="list-style-type: none"> ・経年 10 年未満（改修後）
外壁	塗装 タイル	70.0	外壁のはく落、浮き、 ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・広範囲に少しずつの劣化がある ・多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある ・部分修繕でも対応可能
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的にひび割れや部材の劣化がある ・少数の部材に少しの劣化がある
内壁	タイル貼り モルタル EP	60.0	劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題はない ・仕上げ材等の劣化が多く認められるが、部分修繕で対応可能 ・仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題はない
天井	吸音板	80.0		
床	タイル貼り カーペット	60.0		
建具	木製	60.0	劣化	仕上げ材等の劣化が多く認められるが、 部分修繕で対応可能
			開閉作動・取付け状態	仕上げ材等の劣化が多く認められるが、 部分修繕で対応可能

¹ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	50.0	定期点検等の結果	軽微な改善箇所の指摘があり、部分修繕が必要
			経年（新設後更新後）	経年20年以上
受変電設備	あり	90.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年以上
自家発電設備	自家発電設備	40.0	定期点検等の結果	軽微な改善箇所の指摘があり、部分修繕が必要
			経年（新設後更新後）	経年25年以上
動力設備	動力設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年25年以上
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	型式失効しており取替が必要
その他設備	インターホン TV共同受信 防犯設備等 表示設備	80.0	経年（新設後更新後）	経年5年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年10年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年10年以上
消火設備	消火設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年10年未満
エレベーター 設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	現在の状況
舞台照明	スポットライト	・全体的に劣化あり ・経年34年であり、取替の時期である
舞台音響・映像設備	ミキサー、アンプ、 スピーカー、マイク	・以前よりノイズの問題あり ・配線の引換が必要
舞台床	床	床が固く、公演が長時間に及ぶと演者に負担がかかることがある

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1985	34	新	—	—	—	—	65 年

経年による部分的な劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無いため、大濠公園能楽堂の目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数を 31 年）と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築34年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は31年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

計画期間の改修費用は、約6億円となっています。

(2) 対策の平準化について

優先順位の考え方に沿って順次改修を行うこととします。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)

区分	項目	実施時期			計
		令和1～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度	
主要部仕上げ	屋根、外壁、内壁、天井、床、建具	69	182	128	379
電気設備	電灯・電話設備、受変電設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	49	3	3	55
機械設備	空気調和・換気・排煙設備、給排水・給湯・給湯設備、消火設備	24	39	7	70
特殊設備	舞台照明、舞台音響設備等	0	86	0	86
計		142	310	138	590

※上記は実際の子算や事業費等とは異なります。